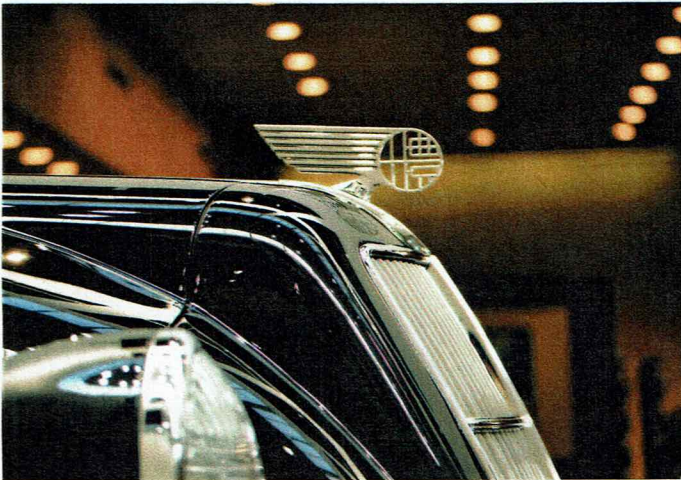


環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



カローラは
現在は11代目
12代目は先進
技術でより
狭道に
100周年を目前
として進め。

流の
時先へ
トヨタの系譜
カローラ世界で進化
時代を映し
4400万台
トヨタ自動車の大衆車
カローラは五十年前の一九六六年
十月二十日に発売計画が発表され
十一月五日に売り出された。
自動車市場に咲く花にどの願ひか
ら英語で「花冠」を意味する。



カローラのエンジンの
改良も進み
燃費性能は
約一割向上し
ていた。
七八年四月つい
にカローラに
三元触媒が
載せられる
空けおろした
へスに駆動
部品の酸素
センサーや
燃料噴射装
置がより
収まった
三世代カローラは
二度の石油シ
ョクを経た海外
でも高い評
価を得た。

トヨタを代表する大衆車
カローラ三世代の記事発
表で開発担当主査が
エンジンルームのすき間だらけ
を記事に冷やかしされた。
だがそのエンジンルームこそ
この車にかける思いが結んで
いた。当時開発中の最新
鋭の排ガス対策の技術
「三元触媒」の搭載を想定
し、関連部品に必要なスベ
ルスを空けておいたのだ。開発
担当主査は三世代目カローラ開
発に当たり「江戸幕府三代
将軍家光を研究したところ、
幕府を盤石にした将軍はもう
に自分のカローラでトヨタの抱
える課題を解決して大衆車
の基盤を固めようと意気込んでいた。



「世界のベストセラーカー」